

# 2018年度 学校関係者評価委員会 報告書

2019年11月15日

学校法人 田中育英会

東京エアトラベル・ホテル専門学校

学校法人田中育英会 東京エアトラベル・ホテル専門学校では「2018年度自己評価報告書」に基づき『学校関係者評価委員会』を開催致しました。下記の通りご報告いたします。

東京エアトラベル・ホテル専門学校  
校長 小川 一廣

## 記

1 日 時 2019年11月15日（金）15:00～16:40

2 場 所 小金井校舎 会議室

3 出席者 学校関係者評価委員

明石 伸子（NPO 法人 日本マナー・プロトコール協会 理事長）

高橋 保雄（グランドプリンスホテル高輪 予約マネージャー）

横田 幸一（株式会社リビエラ 総務部次長）

和木 恭子（卒業生）

（却 康銘委員は海外出張のため欠席）

学校側出席者

事務局長 中軍 英夫

校 長 小川 一廣

教務部長 増田 浩美

4 委員会次第

(1) 開会

(2) 事務局長 挨拶

(3) 校長 高等教育修学支援新制度の概要説明

(4) 教務部長 本校の教育理念、大学コース・ゼミ等について説明

(5) 各基準項目について自己評価報告と委員からのご意見・ご助言

(6) 閉会

5 基準項目ごとの各委員からのご意見・ご助言

(1) 教育目標

冒頭の段落の文章が長いので以下のように変更するのが望ましい。

⇒本学の教育理念、目的、育成人材像は学校創始者による「建学の精神」に示されている。

己の天職を求めて研鑽に励み、国際社会の文化と福祉に貢献すること目的として学問するものである。豊かな人間性を育むとともに常に専門知識の奥深さを究明し天職を全うしうる人材を育成することである。

(2) 本年度重点的に取り組むことが必要な目標や計画

特に意見なし

(3) 評価項目の達成及び取り組み状況

①教育理念・目標

【課題】

学校の理念、目標、人材育成像については、「建学の精神」に定められているが学生の周知度を上げること。

【特記事項】

常に社会経済の変化を意識して将来を見据えた小冊子『本物の教育』を作成し本物の教育を実践していることは素晴らしい。

②学校運営

【特記事項】

情報公開についてはホームページ・パンフレット等により適正に公開、より見やすく常に改善しており、情報システムについても、2019年4月新しい広報管理システムを業務の効率化を図るとともに個人情報管理を強化している

③教育活動

【特記事項】

2019年10月1日に教員、高校教諭、高校生、在校生を対象に公開授業を実施して積極的に教職員力向上に努めている。

④学修成果

【今後の改善方策】

退学理由によっては他科への転科または東京工学院への転校を勧めて退学者減少に努力している

⑤学生支援

【特記事項】

高等教育修学支援対象校に認定されたことを追記する。

⑥教育環境

【課題】

就職内定企業によっては「早期現場実習」と称して卒業前から勤務要請があり、正規の授業が受けられない場合があるので今後も該当企業に粘り強く要請する。

【特記事項】

2019年5月19日をもって全館に地球にやさしい空調設備のリニューアル工事を終了し、夏季休暇中にはWi-Fi使用可能な工事を行った。

⑦学生の受入れ募集

【特記事項】

新システム(E=VO)を2019年4月に導入した。

⑧財務

【今後の改善方策】

決まった予算をより効果的に活用するために更なるコスト削減も検討するべきである

【特記事項】

財務情報は HP にて情報公開済みである

⑨法令等の遵守

【特記事項】

個人情報の取扱いについては新入生導入教育の中でも指導している

⑩社会貢献・地域貢献

【評価項目】

2 項目目・3 項目目の評価点は既に実施しているので 3 を 4 に変更して良いのでは？

【特記事項】

シビルウェディングは 2019 年 11 月 10 日(日)に実施済

⑪国際交流

【特記事項】 以下を追加するのが望ましい

- ・毎年、イギリス・アメリカ・ニュージーランドの海外姉妹校 10 校の教授・学生が来校し、2 週間本校の学生・教員と交流するインターナショナルウィークを実施している。また、本校学生の海外姉妹校への短期研修も実施している
- ・海外留学担当の専任教員を選任するとともに、外部の留学センターと契約し留学希望の学生に対応している。

(4) 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・3 年前に全学科に大学コースを設置し、昨年度からは 3 年間の中期計画「テクノス戦略 2020」を策定し、常に社会のニーズを前撮りして教育に取り組む姿勢は大変評価できる
- ・小金井市、国分寺市と地域活性化包括連携協定を締結し、社会貢献・地域貢献に積極的に寄与するとともに、学生の実学の学修機会の更なる拡充を図っている
- ・専門学校でありながらカリキュラムにゼミを導入するなど他校との差別化を目指している。
- ・これら本校の特色を多摩地域を中心とした高校教諭に強く訴求し、安定した学校経営を行い、専門性・人間力・総合力を兼ね備えた多くの学生を社会に輩出して欲しい

以上